

かささぎ



北京日本人学校
学校通信 第4号
平成29年7月15日
校長 奥田 修也

(小)通知表は子どもを励ますきっかけです

(中)通知表は新たな頑張りのスタートです

校長 奥田 修也

もうすぐ1学期が終わろうとしています。各学級を訪れ、子どもたちの様子を見ると、どの学級でも熱心に学習に取り組む様子を見ることができ、校長として大変うれしく感じています。特に今学期はインタラクティブホワイトボード、超短焦点型プロジェクター、デジタル教科書などを整備し、できるだけ新しい時代に合った学習を展開しようと試みました。教員も一生懸命使い方の研修をしましたが、それらのツールを手段の一つとして子どもたちなりに理解し、解決し、友だちに認められ、「わかった、やった、できた」と喜びを表しながら、充実感や存在感、所属感を味わっている様子を見ると、本校の教育が一步前進したと思えます。

小学校教育で特に意を用いて指導しなければならないこととして、学力の重要な3つの要素があります。それは、

①基礎的な知識・技能の習得

②知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力

③学習意欲（主体的に学習に取り組む態度）です。

本校通知表の学習の様子欄は、これらの視点から見たお子さんの今の様子が表れています。◎や○の数を数えるのではなく、どの教科のどんな学力でお子さんの力が発揮されたのか、どんな成果が上がったのかなどをご確認ください。

また、学校生活の行動の様子では、あいさつ、身の回りの整理など基本的な生活習慣、責任感や公平な態度、仕事への取り組みなど学校生活で見えた行動の面から評価しています。行動の様子は学習面での意欲や成果につながる大切な要素です。たくさんほめられた子どもは、人のよさにも気づき、人を認める子どもに育っていくものです。ご家庭では、通知表をひとつのきっかけとして、学校生活についてお子さんと会話するチャンスと考え、学習面、行動面のよさを認め励ます時間をもっていただきたいと思います。

また、中学生にとって通知表は、この1学期、3か月間の生徒の学習の記録であり、生徒が歩んだ記録です。本校の評価は、基本的に「絶対評価」であり、各教科が設定した目標に達しているかどうかで評価する「目標に準拠した評価」です。5の人数がある程度決まっている「相対評価」とは異なり、本人が頑張った結果がそのまま反映されます。「評定」は「各観点別学習状況の評価」に基づき、5. 4. 3. 2. 1の5段階で評定しています。小学部と比べ冷たい数字に感じられるかもしれません。しかし、たとえ思ったような数字が並んでいなくても、思い立ったが吉日、という言葉があるように、この通知表を新たな頑張りのスタートにすればよいだけです。特に、小学部から入学した中学部1年生にとっては、中学生になって初めての通知表です。いくぶん戸惑いもあるかもしれませんが、疑問の点がありましたら遠慮なくご連絡ください。

最後に、通知表の話とはまた異なる、私なりに考えた、「学校全体として他の視点で捉えた学力向上のポイント」をあげてみたいと思います。特に順番による軽重はなく、順不同な、「大事にしたいこと・考えていきたいこと」です。



- 1 保護者の方の意識・・・家庭の教育環境作りと大事な自分の子どもの学力
- 2 保健・健康面から・・・朝ご飯、睡眠の量と質、心の安定、体力と学力
- 3 心の教育と進路指導・・・夢や目標をもつことと学力
- 4 学級づくり・・・友だち大好き、先生大好き、学校大好きな子と学力
- 5 施設設備・教材教具の充実・・・新しいモノの整備充実と学力
- 6 教育環境としての校内掲示・・・よい情報提供と学力
- 7 ICTの活用・・・タブレット端末などの学習活用と学力
- 8 教員の資質向上・・・教員の研修、一般教養、教育愛と児童生徒の学力
- 9 読書環境・・・情報センターとしての図書室整備、読書広場としての図書室と学力
- 10 学校全体の心のまとめ・・・職員同士、職員と児童生徒、職員と保護者との本当の意味での温かい人間関係作りと児童生徒の学力
- 11 最後に、北京という地からくるプラス・マイナス面と子どもの学力



これが、私の「大事にしたいこと・考えていきたいこと」ベストイレブンです。

生活科探検を終えて

小学部 2年

6月は生活科の探検がとて多い時期でした。上旬にはスイカ農園、中旬には学校の周り探検、下旬には四得公園の探検でした。スイカ農園では、自分の頭よりも大きなスイカの収穫体験をしました。6年生や中学生に運ぶのを手伝ってもらい、やっとの思いで持ち帰ったスイカの味は格別だったようです。学級ごとでのスイカパーティーでも大盛り上がり！お腹いっぱいスイカを味わいました。今年は博物館が改装中だったため、事後学習としてスイカの調べ学習をしました。学校のまわり探検では、意外に知らない学校の周りの様子について調べてきました。何となく知っていたことも、実際に見に行くことでより身近に感じられたようです。また、その中の一つである四得公園では「夏さがし」もおこなわれました。見えるものだけでなく、肌で感じる風やにおい・蟬の声など、子どもたちはたくさん「夏」を集めていました。

現在、ミニトマトの収穫時期を迎え、子どもたちは自分で育てたミニトマトを大事に持ち帰っています。毎日水やりをし、大事に育ててきた野菜の収穫の喜びを味わうことができたようです。



盧溝橋・周口店北京原人遺跡・周口店遺跡博物館見学を終えて

小学部 6年

6月7日(水)、北京郊外にある「盧溝橋」「周口店北京原人遺跡」「周口店北京原人博物館」に行ってきました。盧溝橋では、事前学習で学んだ獅子501体を班の友達と協力しながら一生懸命数えていました。また、マルコ・ポーロが「東方見聞録」で絶賛した橋、清時代の皇帝乾隆帝も月を見に訪れたという橋、そして、日中戦争勃発のきっかけとなった橋、という様々な歴史的価値がある「盧溝橋」を訪れ、様々な思いを巡らせていました。

次に、北京原人遺跡に行きました。原人が暮らしていた洞窟は工事中のため見学はできませんでしたが、かつて原人が暮らしていた地で原人気分を味わっていました。そして、遺跡博物館では4D映像を通して北京原人の生活の様子を知ることができました。また、興味深い展示物がたくさんあり、原人と現代人の頭蓋骨の違いに驚いたり、道具を作る知恵に感心したりとみんな興味津津でした。今回の校外学習で、北京でしか経験できない貴重な体験をし、歴史の学習にますます興味が湧いてきたようです。



ただいま 何人？

小学部 平成29年7月15日現在

	男子	女子	合計		男子	女子	合計
1-1	9	7	16	4-1	13	9	22
1-2	9	9	18	4-2	13	9	22
1-3	8	8	16	5-1	15	11	26
2-1	9	9	18	5-2	14	10	24
2-2	8	8	16	6-1	9	11	20
2-3	8	9	17	6-2	9	10	19
3-1	14	10	24	小総計	152	129	281
3-2	14	9	23				

中学部

1-1	8	9	17	3-1	7	6	13
1-2	9	7	16	3-2	7	7	14
2-1	6	8	14	中総計	44	44	88
2-2	7	7	14	総合計	196	173	369

安全に気をつけて
楽しい夏休みを
過ごしてね！

